



いちよう

発行日 平成28年3月16日
発行者 小山市立福良小学校長
栗原 政夫

～もうすぐ卒業式～

昇降口のプランターには、今春も赤や黄色など色とりどりのパンジーの花が咲き、花壇のスイセン、チューリップが次に咲く番を待っています。年度末の締めくくりも大詰めになってきました。6年生は中学校へ進学し、1～5年生は進級します。

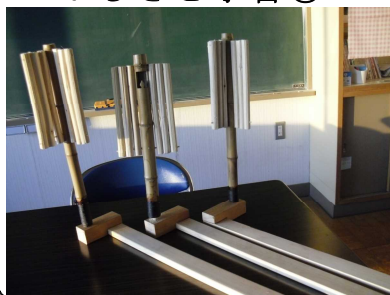


この時期、卒業に向けて、歌や呼びかけの声が校内に響き渡ります。こうして練習している中に、どの学年も6年生との別れを惜しんでいる気持ちが伝わってきます。6年生の巣立ちを穏やかに見守りたいと思います。

18日の卒業式、24日の修了式を終えると、子どもたちが楽しみにしている春休みに入ります。この時期、つい浮き浮きした気持ちになりますので、子どもたちの健康と安全については、十分に気をつけるようお願いいたします。

なお、PTAの永井美貴会長をはじめ、役員の皆様、保護者及び地域の皆様には、年間を通して多大なるご協力を頂きました。心より厚くお礼申し上げます。

ふるさと学習⑦～「つくし」が寄贈される～



高椅にお住まいで、ふるさと学習の講師でもある塚原アイさんから、3つの「つくし」が寄贈されました。

「つくし」は、手で糸をつむぐときに、繭からとった真綿（まわた）をひっかける道具です。わざわざ頼んで作ってもらったそうです。

これからも、この「つくし」から糸をつむぐ体験を、多くの子ども達にさせていくつもりです。

ありがとうございました。

2 / 29(月)英語出前授業

絹中学校の齊藤教頭先生が本校の6年生相手に英語の授業をしました。

「読めるかな？どこかな？」というテーマで、県名や読みにくい地名の学習を英語を通して行いました。授業中の質問や説明もほとんど英語なので、子ども達はびっくり。

初めに県の形の切り抜きから、どこの都道府県か当てました。Hokkaido、Aomori、Nagano、Tottori、Ibaraki、Okinawa、Kagoshimaなどがありました。

次に読みにく地名クイズを行いました。中標津（なかしべつ）、龍飛（たっぴ）、小浜（おばま）、羽合（はわい）、大歩危（おおぼけ）、指宿（いぶすき）、安曇野（あずみの）など、馴染みの薄い地名もありました。



最後にはそれら地名について、“Where are these places?”日本のどこにあるかを地図帳で調べて確認しました。子ども達の様子を見てみると、興味を持って実に楽しそうに取り組んでいました。

子ども達からは「私の好きな英語と地理が交互に学べて楽しかった。中学校の勉強が楽しみになりました。」などの感想が聞かれました。



2月27日(土)に、県南体育館で、小山市体育協会スポーツ顕彰授与式が行われました。

本校からは、5年田中珠湊さん(空手)と落合萌百華さん(野球)が優秀選手賞を受けました。

二人とも、日頃よりスポーツに一生懸命取り組み、大会等で優秀な成績を残した結果の受賞です。この賞を機に、さらに鍛錬し、今後も活躍できる選手になってほしいと思います。



知ってネ！特別支援教育

～その３「特別支援教育コーディネーター」と「特別支援学級」～

１７号と１９号の「特別支援教育」に続いて、今回はその３をお伝えします。

◇特別支援教育コーディネーター

小山市ではどの学校にも特別支援教育コーディネーターがいます。コーディネーターは、

- ①校内の関係者や関係機関との連絡調整
- ②保護者の相談に対する窓口
- ③担任への支援
- ④巡回相談や専門家チームとの連携



などの役割があります。本校では、椿和子先生が担当しています。お子さんのことで、気になることや困っていることがありましたら気軽にご相談ください。

◇特別支援学級

小山市の各中学校区で、唯一絹中学校区にだけ特別支援学級がありません。学校によっては５学級も特別支援学級があり、４０名以上がそこで勉強している学校もあります。特別支援学級で学習する子どもたちは、他の児童と同じペースで学習することが苦手だったり、一つのことを覚えるのに時間がかかったり、他の児童が平気なことでもとても気になってしまったりするなどの特性を持っています。反対に、得意なことは誰よりも早く正確に覚えることができたり、一度覚えたことを何年経っても正確に思い出したりすることができます。おおぜいの友達と一緒にペースを合わせて学習するのがつらく感じてしまう児童が多いので、他の児童とは別の教室で、その子のペースに合わせて学習したり、その子が安心できる環境や方法で学習したりします。それが特別支援学級です。

義務教育学校に向け、特別支援教育をさらに進め、一人ひとりのニーズに応えられる学校作りを目指すためにも、特別支援学級を絹中学校区にも作ってほしいと願っています。

特別支援教育や特別支援学校について、問い合わせ等がありましたら、遠慮なく学校へ連絡してください。他校の特別支援学級を参観することもできます。



最後に

私事ですが、今月３月３１日をもって、定年退職になります。福良小学校には、平成２５年度から３年間勤めさせて頂き、教員生活３８年間の幕を閉じます。

その間、微力ながら地域に根ざした学校づくりを目指して取り組んできました。

まずは、明るく楽しい学校づくりのために、あいさつ運動に力を入れてきました。継続は力なりと言いますが、保護者や地域の皆さんの協力で、明るいあいさつの響く学校に近づいてきたように思います。

また、本場結城紬を題材としたふるさと学習の推進では、地域の皆様にご指導いただき、他校にはまねのできない特色ある学習活動を行うことができました。

子ども達、教職員から元気をもらい、保護者の皆様、地域の皆様にはいろいろな面で支えて頂き、教育活動をすすめていくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

本校は、平成２９年４月から、梁小、延島小、絹中と統廃合して、１年生から９年生が一緒に学ぶ義務教育学校に生まれ変わります。

絹地区の子ども達の健やかな成長と幸せ、そして新設校の発展を心より祈念しております。大変お世話になりました。